

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期蓬田村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県東津軽郡蓬田村

3 地域再生計画の区域

青森県東津軽郡蓬田村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の総人口をみると、2020年10月時点（国勢調査）では2,540人であった。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）に準拠した人口推計では30年後の2050年1,150人で、2020年に比べて1,390人（54.7%）の減少が予測されている。

また、年齢3区分別の人口をみると、生産年齢人口は総人口に比例して減少し、2020年～2050年に833人（68.5%）の減少が予測されており、また、年少人口の減少割合も大きく、2020年～2050年で178人（72.1%）減少、老年人口は2020年～2050年で379人（35.2%）の減少と予測されるが、その減少割合が小さいことから2025年を境に生産年齢人口を上回り、2035年には半数を占める予想となっている。生産年齢人口、年少人口、老年人口の全区分の減少が予測されることから、村の総人口は急激な減少を招くと考えられる。

自然動態をみると、出生率は2010年の20人をピークに減少し、2020年には9人となっている。その一方で、死者数は2020年には42人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲33人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2020年には転出者（65人）が転入者（41人）を上回る社会減（▲24人）であった。本村の基幹産業である農漁業の衰退に伴い、村外への転出者が増加している。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

人口減少が進むことで、若者が少なくなり地域の活力がなくなること、働いている人や若者の経済的負担が重くなること、空き家が増加して地域がさびれること、働き手がいなくなること、年金など社会保障制度が破綻することなど、様々な影響が懸念される。

様々な分野で人口減少に歯止めをかけるためには、今後もあらゆる分野でこれまでに以上に施策を強化していかなければならない。本計画においては、「政策分野 1 誇りあるしごとづくり」「政策分野 2 魅力ある故郷づくり」「政策分野 3 理想の家庭を応援する地域づくり」「政策分野 4 安心して住み続けられる村づくり」を基本目標に掲げ、取り組んでいく。

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の政策分野
ア	専業農家数	62戸	50戸	政策分野 1
	漁業者数	39戸	35戸	
	トマト出荷量	279 t	285 t	
	ホタテ漁獲高	821百万円	800百万円	
	新規作物の定着及び販売額向上	0 ha	1 ha	
	新規就農者数	4 戸	3 戸	
	シルバー人材バンクの設置	0 組織	1 組織	
イ	観光入込客数	170千人	175千人	政策分野 2
	村産直施設での販売額	10百万円	10百万円	
	移住世帯数	0 世帯	5 世帯	
	提供可能家屋数	0 戸	3 戸	
ウ	合計特殊出生率	1.31	1.31	政策分野 3
エ	特定健診の受診率	41.20%	60.00%	政策分野 4

	がん検診の受診率	18.83%	60.00%	
	要介護認定率	17.1%	18.0%未満	
	有償ボランティア登録者数	44人	50人	
	冬期間の除雪道路	40.1km	47.7km	
	冬期間の除雪歩道	1路線	1路線	
	住宅リフォーム支援世帯	0世帯	20世帯	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期蓬田村まち・ひと・しごと創生事業

ア 誇りあるしごとづくり事業

イ 魅力ある故郷づくり事業

ウ 理想の家庭を応援する地域づくり事業

エ 安心して住み続けられる村づくり事業

② 事業の内容

ア 誇りあるしごとづくり事業

本村の基幹産業である農漁業を柱とし、産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための強靱な生産基盤づくりとやりがいを持ち、誇りを持って働ける生業づくりに取り組む。後継者育成と移住者や新規就業者に手厚い施策を施す。

また第三セクターであるよもぎたアシスト（株）を初めとする地元企業の強化を図り、新たな雇用を生み出す仕組みづくりに取り組む。

【具体的な取組】

- ・新規就農者の支援
- ・たまねぎ、ミニトマト等の特産品の生産支援 等

イ 魅力ある故郷づくり事業

若年者が故郷に愛着を持ち、一生住み続けたいと思う村づくりを進める。
また村外から訪れる人が「また訪れたい」と思う施設や環境をつくる。

基幹事業として交流人口の増加を図るため玉松台カントリーパークを中心とした、集客力のある施設整備と定住人口の増加のための村営住宅や宅地造成を推進し若者の定住を図る。

【具体的な取組】

- ・観光資源の利用促進
- ・第6次産業化の推進 等

ウ 理想の家庭を応援する地域づくり事業

若い世代が描く理想の家庭づくりを応援し、住み続けたい、また住んでみたいを実現できる施策を行う。子育て環境を充実させ、官民が連携した支援策を講ずるとともに児童福祉分野でも手厚い取組を行い、地域全体で子育てを支援する。

また学校教育、社会教育を問わず、教育環境の充実をはかり、生きがいと多様な学びの場をつくる。

【具体的な取組】

- ・18歳までの医療費無料化
- ・ICTを活用した授業の導入 等

エ 安心して住み続けられる村づくり事業

県と連携し、短命県返上の取組を行い健康寿命の延伸を目指す。住民健診及び保健指導を拡充し、生活習慣の改善を図る。

また高齢者向けの各種事業を実施し、高齢者の孤立化防止と、健康でいきいきとした生活を送れるように支援する。

自然災害や犯罪に強い村づくりを目指し、防災体制の強化と迅速な情報提供及び避難誘導の体制整備に努める。

【具体的な取組】

- ・よもぎ温泉改修事業
- ・防災体制の強化 等

※なお、詳細は、まち・ひと・しごと創生蓬田村第3期総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000千円 （2025年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年3月頃、外部有識者等で構成する「蓬田村総合戦略有識者会議」で行い、検証結果を蓬田村公式HPにて公表する。また、評価・検証内容に応じ総合戦略の見直しを検討する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで